

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)		
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩	工 期 (年度)	当 初	H13 ~ H16	
当初事業費	441,000 千円		費用対効果	当初	-	実 績	H13 ~ H16
最終事業費	249,732 千円		評価時	2.96	完了後経過年数	5年	
事業目的	雪崩災害が発生している地域内の斜面の安定を図り、林地、農地、人家への被害を防止する。						
事業等経過	当初計画内容	なだれ減勢工1個、防護柵工1式					
	最終事業内容	なだれ減勢工1個					
	変更理由	下方の信濃平スキー場の廃止により事業内容の見直しを行い、防護柵工の施工を取りやめた					
費用対効果の算定の基礎となった要因の変化							
当初時は費用対効果を算定していない。							
社会経済情勢の変化							
保全対象内であった信濃平スキー場の廃止 保全対象戸数 H13:45戸 H22:21戸							
評 価 内 容						ランク	
						部	政策評価課
事業効果の発現状況(S:目的を超えた達成 A:達成した B:概ね達成 C:達成したとはいえない)						A	A
事業完了後からなだれ被害は見られず安定した状況である。							
事業実施に伴う自然環境の変化(S:環境がよくなった A:影響なし B:影響あり C:影響が大きい)						B	B
山腹斜面に大規模な鋼製構造物を設置したため、景観への影響はあったが、なだれの発生が防止され、森林植生が回復しつつある。 また、天然記念物のギフチョウ、ヒメギフチョウの繁殖地の保全に配慮した等、自然環境への影響は最小限に留められた。							
施設の維持管理状況(S:地域の人たちの参加あり A:適切にされている B:やや不十分 C:適切にされていない)						A	A
長野県が維持・管理を行っている。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)						A	A
工事の必要性、納得度、重要性については9割以上、満足度については約8割の方から評価されている。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)						A	A
当事業としての改善措置の必要性はない。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし)						-	-
特になし。							
部意見	事業実施により、なだれ被害の発生はなく、地域の安全・安心が図られている。			政策評価意見	なだれ被害が防止され、一定の効果が認められる。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
今後の維持管理、特に異変が生じたときの情報収集・伝達手段について、地域との協働を図れるよう、連携を密にしていける必要がある。							

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

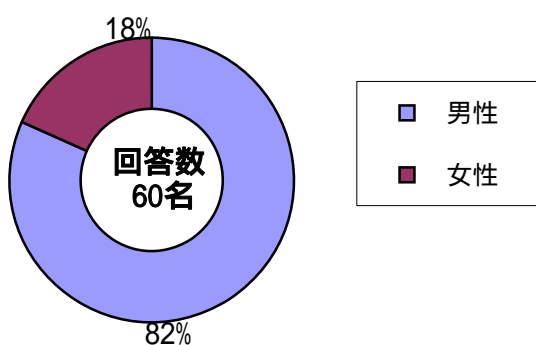
アンケートの方法及び対象

施工地下方に位置する顔戸地区を対象に実施した。

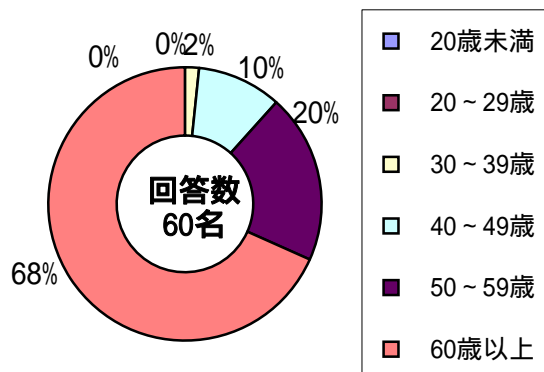
配布戸数79戸、回答戸数60戸、回収率75.9%

アンケート結果

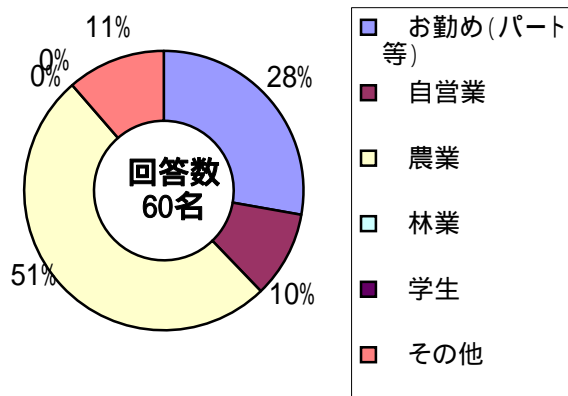
1 性別



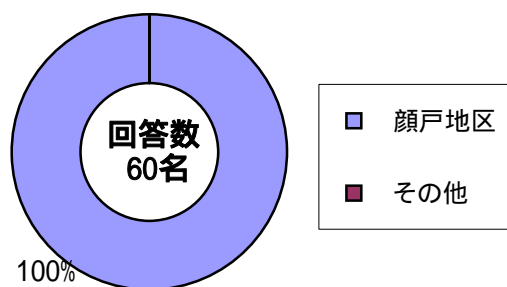
2 年齢



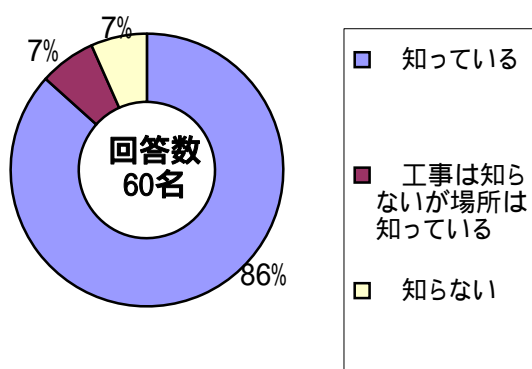
3 職業別



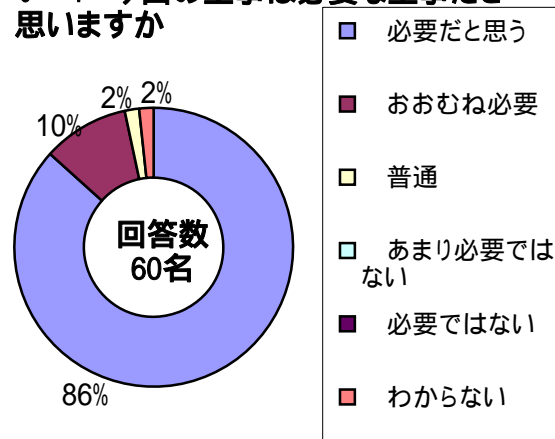
4 地域別



5 この事業をご存知でしたか



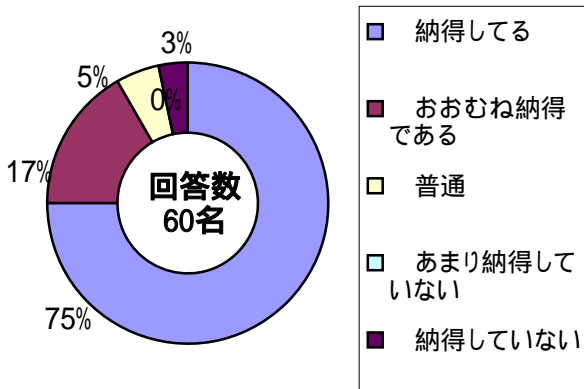
6-1 今回の工事は必要な工事だと思いますか



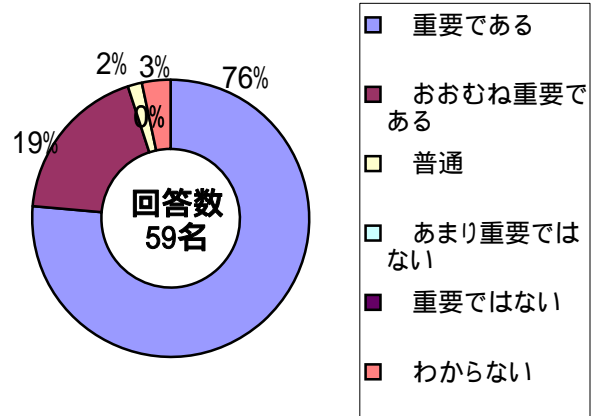
5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

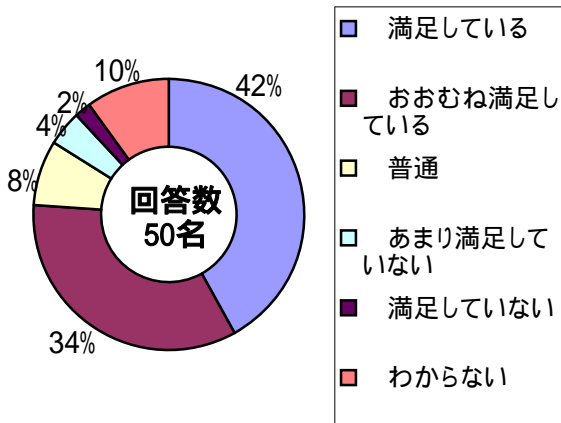
7-1 行われた工事に税金が使用されたことに納得しますか



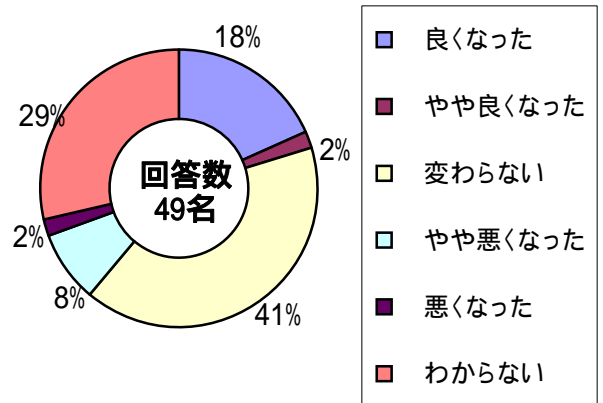
8-1 行われた工事は地域社会にとって重要だと思いますか



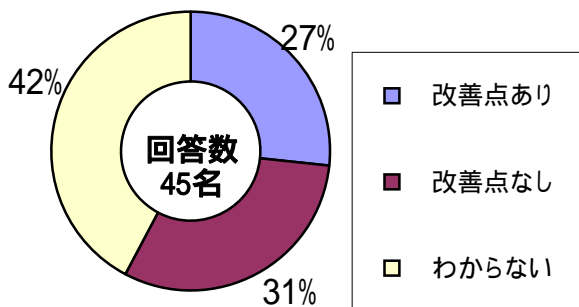
9-1 この事業が完成した結果をみて、満足していますか



10-1 自然環境について施行前と比べて変化はありますか



11-1 行われた工事について改善した方がよいと思われる点がございしますか



5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

問6-2

行われた工事は、あなたにとって必要な工事だと思いますか。質問の箇所を知らない方も工事の目的から判断してお答えください。また、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

必要だと思う(52名内31名記載)

- ・過去に大規模な、なだれが発生しているため二度と起きないよう、なだれ被害防止に必要。(同様8)
- ・住民の生命、財産や自然を守るため。(同様5)
- ・工事が行われてからなだれが少なくなった。(同様2)
- ・自然災害防止のため(同様2)
- ・安全・安心な生活を守るため。(同様1)
- ・黒岩は山頂に近く急な断崖である上に黒岩溶岩が露出していて、急に雪が降った場合には、そこに雪庇ができ、それがはがれると下になだれ落ち、だんだん勢いを増し村まで押し出す。昭和15年1月30日の早朝に押し出したなだれにより、3名が死亡し、その家と隣家もつぶれ牛1頭が圧死。蓮華寺の本堂も押しつぶし、近隣の家半壊さる。
- ・スキー場に拘らず明治25年又昭和15年と集落まで押し下った(ワヤ)があった。
- ・まだ危険箇所があるので断続してほしい。
- ・スキー場がなくなり、管理できなくなった。ミズナラの木が枯れ、ますます、必要になると思う。
- ・この地区に住む住人で、昔、よくなだれが起き、死亡者も多数出ていると聞いているから。
- ・急斜面で豪雪地域、防止、抑止策をしなければ安心して住めない。
- ・地域住民、スキー場の人命重視の面からも重要であった。
- ・何十年何百年に1回の災害でも被災者にしてみれば はが心配です その心配が工事に依って取りのぞかれた事は大きな意味があると思う。
- ・人命の安全と自然保護において驚く程の金額と大きな工事に大変感謝致しております。

おおむね必要(6名内4名記載)

- ・なだれ、土砂くずれ。
- ・あの当時としては、スキー場の経営には、必要だったと思う。(安全性等)
- ・なだれの心配がない。
- ・自分の住んでいる所の保全の為、防災の為。

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

問7-2

行われた工事に税金が使用されたことに納得しますか。質問の箇所を知らない方も工事の目的から判断してお答えください。また、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

納得している(45名内20名記載)

- ・税金を使っでの工事、大変ありがたい。災害防止のため、地区・区民の生命財産を守るために使われたのだから。(同様8)
- ・県民の生活を守り、安心した暮らしを。(同様3)
- ・非常に多額な費用がかかったと思う(場所が悪い)。
- ・地元集落だけでは防止工事は不可能なため。
- ・安全・安心に生活できる為(問6-2と同じ)。
- ・表層なだれは、区の集落まで押し出し人命を奪い、家屋も押しつぶす被害があるので、工事に万全を期して貰いたい。
- ・問6-2から当然。
- ・規模が適切だったと思う。施地場所もよかったと思っている。
- ・人命の安全と自然保護において驚く程の金額と大きな工事に大変感謝致しております。(問6-2と同じです。)

おおむね納得している(10名内4名記載)

- ・地元負担では金額が莫大なため。
- ・住民の為に使われる税金は賛成だが、はたして適切に使われているかどうかは？
- ・地元負担がないので。
- ・個人では出来ない為。

普通(3名内1名記載)

- ・しかたがない

納得していない(2名内1名記載)

- ・国のお金でやって下さい

問8-2

行われた工事は地域社会にとって重要だと思いますか。また、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

重要である(59名内10名記載)

- ・災害防止に必要。(同様1)
- ・事故防止に必要。(同様1)
- ・昔から災害が数回あったので必要な工事だったと思う。(同様1)
- ・先祖は災害のたびに移住した歴史があります。(水と安住)山口清水の近くに住んだそうです、そして今があります。
- ・工事をしてからは、スキー場までは押し出すが集落まではこなくなった。
- ・住民の生命と財産を守る工事なので。(問6-2と同じ)
- ・急斜面で豪雪地域、防止、抑止策をしなければ安心して住めない。(問6-2と同じ)

おおむね重要である(10名内4名記載)

- ・住民の生命財産を守るため。(同様1)
- ・天候不順。(大雨、大雪)
- ・重要だと思うが、最も切実感ある信濃平スキー場は閉鎖してしまったので「おおむね」とした。

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

問9-2

この事業が完成した結果をみて、満足していますか
また、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

満足している(21名内10名記載)

- ・工事終了後、なだれ防止に役立った。(同様2)
- ・安心して冬の生活ができる。(同様2)
- ・昔よく横川畑の中程へなだれがきました、最近そのようななだれ見られません。
- ・森林として育っている(スギ)。
- ・住民の生命と財産を守る工事なので。(問6-2と同じ)
- ・ただ景観が悪くなった様な気がする。

おおむね満足している(17名内6名記載)

- ・多分効果があるのだろうか、専門家でないので分からない。
- ・防雪林もあり大丈夫だとは思いますが、表層雪崩の跡を見るたび不安になる。
- ・継続して、北側迄お願いしたい。
- ・なだれが、おきにくなり安心していられる為。
- ・山へ向かい左側は、減勢工は施工されているが、下段へなだれ防止柵がいまだ未施工である。
- ・なだれがおきていないから。

普通(4名内1名記載)

- ・外見だけでは良否はわからない。

やや悪くなった(2名内2名記載)

- ・工法に問題点があります。当初作った石積みの階段と、鉄製のジャングル(後半の工事)はよいが、黒岩山斜面に作った鉄製の小さい防護板は、こわれて余り効果が期待できない。
- ・継続して貰いたい。

悪くなった(2名内1名記載)

- ・木をはやすべきだ。

わからない(2名内1名記載)

- ・なだれが起きてみなければわからない。

無回答(1名記載)

- ・現場を見ていないのでわからない。

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

問10-2

事業の実施により、大気環境や水環境、植物や動物、景観などの自然環境の状況は、施工前と比べてどう変化しましたか。また、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

良くなった(9名内5名記載)

- ・なだれ発生地帯は、土が少ない岩石地帯のため杉など移植した事もあったが、枯死してしまうのでだめだが、中程から下方の樹木の生育がよくなってきた。
- ・地すべりによる山の崩落面が殆んど無い。
- ・森林として育っている(スギ)。(問9-2と同じ)
- ・岩下の木が折れて押し出した雪崩は最近みられません。
- ・なだれの出た大きな原因は、その時代に日本はガソリンが足りなくなりバスも木炭で走る様になった。その為に山の木が使われて、山はハダカになった。それがなだれの原因です。

やや良くなった(1名内1名記載)

- ・雑木が成長した。

変わらない(20名内7名記載)

- ・自然環境の変化もなく、鉄柱の色も目立たない。(同様3)
- ・H19年春頃、該当地点で初めてカモシカを見た。その後、下の地区(元スキー場周辺)でも見るようになった。
- ・水環境外に現在のところ見あたらない。
- ・事業とは関係ないが、山自体が荒れていると思う。樹木が少なくなったり...

やや悪くなった(4名内1名記載)

- ・鉄骨がむき出しのため。

悪くなった(1名内1名記載)

- ・山の中に鉄骨がある。

わからない(14名内3名記載)

- ・結果をみていない。(問9-2と同じ)
- ・見ていない。
- ・専門的な事を一般のアンケートで参考になるのですか？

問11-2

行われた工事(完成した施設)について改善した方がよいと思う点がございましたか。改善ありと回答した方は、さしつかえなければその理由をお聞かせください。

改善点あり(12名内8名記載)

- ・予防柵が未だに未施工。(同様1)
- ・落石防止のネット等の周辺の整備をする必要あり(草刈、刈払い等)。
- ・メンテナンスが必要と思う。
- ・もっと費用のかからない又、安全面においても心配のいらぬ工事ができるのではと思う。
- ・工事後半に作った鉄のジャングルの様な構造物は非常に、威力があって落ちてきたなだれを喰い止めているので、よいと思います。
- ・鉄骨を自然の色彩に合わせたいと思います。
- ・少しずつでもよくなっていき自然を守り。

改善点なし(14名内2名記載)

- ・今の所ないです。
- ・これからの維持管理が心配です。

無記入(1名内1名記載)

- ・岩山の急な山の状況下で工事を実施していただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

アンケート結果

問12

アンケート箇所に対してその他の御意見・御要望等がございましたらお聞かせください。

(8名記載)

- ・災害、治山、緑化の為に工事を実施してもらいたい。(同様1)
- ・昭和15年の雪崩.....戦時中の工事の山頂の段差の段がなくなっていると思いますが、現場へ行かれませんが、それが心配です。
- ・今はなだれ防止工事の御陰で山にたくさんの木が育って居ります。
- ・落石防止網が長くはられているが登り口がヶ所もない(管理見回り等に不便)何を考えて工事をされたのか疑問。
- ・まだなだれの心配な箇所があればやって頂きたいです。
- ・問9-1で(4)としましたのは、工専用道路を地元寄付で作ったのを途中で、いらなくなったとして、上部半分を工専用残土で埋めてしまった事は、地元としては甚だ不満です。

問13

この箇所に限らず、公共事業について御意見等がございましたらお聞かせください。

(19名記載)

- ・昭和20年頃前後の地元への大きな事故と、スキー場開発で訪れていただいた尊い人命をなくされたりで残念でしたが工事をして頂いたおかげでその後は、なくなって大変ありがたく思っております。公共事業でとり入れていただいたことが、治まったと思っております。ありがとうございます。
- ・市民が安心して生活するために自然災害を防ぐ事業はぜひ継続してほしい、なだれ、水害、交通等。
- ・災害の未然防止のため今後とも危険ヶ所の検索と適切な工事の経緯を今後ともお願いしたい。
- ・黒岩山は勾配が強いので、なだれ、地すべりが発生しやすい。公共事業の工事をしていただきたい。なだれが部落まで来て70年が立ちました。山までは数回出ておりスキー場の時、死者が数名有りました。新潟県のなだれ工事を視察して約20年、それから大きな工事をしていただき感謝しております。一番先におこった工事の手入れが約20年前におこないましたが、今は年寄りなどで出来なくなっております。していただければ有りがたいです。
- ・アンケートを時々つづけてもらいたい。(若者、中年、高年)
- ・地すべり工事を途切れることなく続けていただきたい。
- ・積極的に地元の声を取り入れて頂き、反映させて頂きたい。
- ・当地(顔戸地籍)は地すべり地帯で毎年工事をして頂いておるのですが、年々手入れをしないと思いがけない災害が発生する危険がありますので、区、役員、共どもよろしくお願い致します。
- ・昭和22年の雪窟の泥流災害は、その上部の融雪氷及び雨水・湧水処理等の対策が必要であり、地すべり防止対策工事の復活をお願いしたい。
- ・地すべり等の危険もあるので、水路、整備等してほしい。
- ・事故が起きてからでは遅いので、地区の意見を聞き安全な飯山の地域づくりをお願い致します。
- ・公式の地域調査(国定調査)実施してほしい。
- ・きめ細かく小破箇所を実施してほしい。
- ・昔から災害のあった場所に、税金を使用して工事等を行う事は必要と考えます。必要のない所に税金を使用して行う事業は税金のむだになるので、その事は良く考えて下さい。
- ・必要な所に必要な物ができる事は良い事、良く民意を確かめて施行してほしい。
- ・公共事業は、必要な箇所は必要だと思う。
- ・生活に必要と思われる箇所(雪の為に車が出ない等)冬期間安心して生活出来るようにしてほしい。
- ・黒岩山中腹からの湧水が多く、地すべりが心配です。調査が必要なら対策をお願いしたい。
- ・必要な所は地元住民の意見を聞いて行政指導と合わせ、検討、協議、実施へ進めてほしい。リスクを負うのは地元住民です。

5区分	森林	25の施策分野	森林を育成する治山	事業名	防災林整備(なだれ防止林造成)
市町村名	飯山市	ふりがな 箇所名	くろいわ 黒岩		

施工前写真



施工後(現況)写真

